

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2023
NOVEMBER

No. 716

Sat. 11th November
Subscription Concert

No. 134

Sun. 12th November
Niigata Subscription Concert

No. 136

Fri. 17th November
Tokyo Opera City Series

11



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太楼
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

コンサートマスター 小林杏成
グレブ・ニキティン

アシスタント・
コンサートマスター 田尻 順

会 長 澤田秀雄
理事長 岡崎哲也
副理事長 平澤 創

依田 巽

専務理事 廣岡克隆

理 事 阿部武彦 辻 敏

池辺晋一郎 永山 治

伊藤美樹 夏野 剛

大橋 博 南部靖之

コシノジュンコ 福川伸次

庄司 薫 藤原 洋

菅谷貴子 増岡聡一郎

竹中平蔵 森 京子

監 事 磯村文靖

寺西基之

評議員長 金山茂人

最高顧問

評議員 梅沢一彦 中村紀子

鷺海暲明 星 久人

片山泰輔 山添 茂

加藤英輔

特別顧問 飯島延浩

草壁悟朗

福田紀彦

【ハープ寄贈：環境ステーション株式会社】

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 森岡ゆりあ
- 小川敦子
- 小山あずさ
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 吉川万理

2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 坂井みどり
- 加藤まな
- 福留史紘
- 阿部真弓
- 河裾あずさ
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 辻田薫り
- 塩谷しずか
- 渡辺裕子

Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村眞紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西応興
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 新井瑞穂*

Cellos

- ☆伊藤文嗣
- ☆笹沼 樹
- 川井真由美
- 内山剛博
- 鯉江慶行●
- 謝名元 民
- 樋口泰世
- 福崎茉莉子

Double Basses

- 回助川 龍
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- コーデイ・ローズブーム
- 渡邊淳子

Flutes

- 相澤政宏
- 山山 愛

Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

Oboes

- 荒 絵理子
- 浦脇健太

- 荒木良太*

Oboe & English horn

- 最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

Bassoons

- 福井 蔵
- 福士マリ子
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- 上間善之
- 加藤智浩
- 阪本正彦
- 溝根伸吾

Trumpets

- 澤田真人
- 野沢岳史●
- 松山 萌

Trombones

- 大馬直人
- 鳥塚心輔
- 住川佳祐

Bass Trombone

- 藤井良太

Tuba

- 近藤陽一

Timpani & Percussions

- 清水 太
- 山村雄大
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

Librarians

- 林 知也
- 加藤幸子

Stage Managers

- 西岡理佐
- 山本 聡

楽管団員

- 井伊 準◆

楽団長

- 廣岡克隆

編成局シニア・ディレクター

- 藤原 真

パーソネル・マネージャー

- 大和田浩明
- 謝名元 民

楽団委員

- 小西応興(議長)
- 福留史紘(書記)
- 清水泰明
- 多井千洋
- 北村一平
- 藤井良太

事務局長

- 辻 敏

事務局

- 市川萌都
- 伊藤瑛海
- 小川博司
- 尾木貴雄
- 桐原美砂
- 高瀬 緑
- 竹内裕子
- 長久保宏太郎
- 山田道子
- 梶川純子
- 榎 日向*

名誉団友

- 深江泰輔◆
- 三木晴雄

団 友

- 天野佳和 佐々木真
- 新井 汎 篠崎 隆
- 安藤史子 菅野明彦
- 池田 隆 杉浦直基
- 石川晴依世 鈴木一輝
- 今村和弘 芹澤英雄
- 岩澤淳子 曾根敦子
- 上原正二 武田英昭
- 上原規照 田中英輔
- 上原未莉 千村雅信
- 内田彬雄 十亀正司
- 内田り例子 龜山 悟
- 宇都 爽 中塚和良
- 梅田 学 中塚博樹
- 大隅雅人 中山 智
- 大塚正昭 西依智子
- 大楚康男 西脇亮治
- 大和田ルース 野村真澄
- 小川さえ子 馬場隆弘
- 荻野 昇 原田英保子
- 奥田史史 白野 奏
- 音川健二 ペアングー
- 加藤谷直美 ボーマン
- 笠原勝二 前田健一郎
- 甲藤さち 松崎里絵
- 加藤健吾 丸山正昭
- 金澤 茂 三浦正信
- 久保田一穂 宮原祐子
- 熊谷仁士 宮本直樹
- 葛原亮司 宮本 睦
- 小林照雄 森みさ子
- 小林亮子 諸橋健久
- 佐川聖二 渡辺 功
- 渡辺啓郎 渡辺啓郎

☆ソロ首席奏者 ●首席奏者 □客演首席奏者 ○フォアシュペーラー ●インスペクター

■本部長 □シニア・ディレクター * 研究員・準事務局員 ◆ 故人

演奏会でのお願い Concert Manner Guide



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットは記載されている座席番号にのみ有効です。
座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



演奏中はお静かに

手荷物に付けている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご
配慮ください。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめく
る音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内
に響きます。

Please be silent during the performance.



開演前に携帯電話、時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は
必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and
all other noise-emitting electronic devices before the
performance begins.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの広い帽子や高さのある帽子は
脱いでご鑑賞ください。またリズムをとる行為も迷惑になりま
すのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way
which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



ホール内での録音・録画・ 許可のない写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited.



演奏中の飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は場内に響きますので、演奏中の
開封はご遠慮ください。

Refrain from eating and drinking during the performance.



補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウリングの発生を避けるために
きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check
that your device is suitably set before the performance
begins.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。途中入場がある場
合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a
performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from
any coughing or sneezing.



曲の余韻も演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance.
Please hold your applause until the actual end of the performance.

カーテンコールの 撮影について

定期演奏会・川崎定期演奏会・東京オペラシティシリー
ズ・特別演奏会にて終演後のカーテンコールの撮影が可
能になりました。撮影は自席にご着席のまま、周りのお
客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

◎前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません

◎フラッシュの使用、目線より
高い位置での撮影はご遠慮ください

◎SNS等に掲載する際は、
ほかのお客様の映り込みにご注意ください

◎スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、
自撮り棒の使用はご遠慮ください

11/11 SAT. 12 SUN.

第716回 定期演奏会

2023年11月11日(土) 18:00 サントリーホール

Subscription Concert No.716

Sat. 11th November 2023, 18:00 Suntory Hall

第134回 新潟定期演奏会

2023年11月12日(日) 17:00 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

Niigata Subscription Concert No.134

Sun. 12th November 2023, 17:00 Ryutopia Concert Hall

ジョナサン・ノット [指揮]

ゲルハルト・オピッツ [ピアノ]

グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

Jonathan Nott, Conductor

Gerhard Oppitz, Piano

Gleb Nikitin, Concertmaster

ベートーヴェン:

ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19 (28')

I.アレグロ・コン・ブリオ

II.アダージョ

III.ロンド、モルト・アレグロ

休憩 (20')

L.v.Beethoven :

Piano Concerto No.2 in B flat major op.19 (28')

I. Allegro con brio

II. Adagio

III. Rondo, Molto allegro

Intermission (20')

ベートーヴェン:

交響曲 第6番 へ長調 op.68 「田園」 (39')

I. 田舎に到着した時の嬉しい感情の目覚め

II. 小川のほとりの情景

III. 田舎の人たちの楽しい集い

IV. 雷鳴、嵐

V. 羊飼いの歌 (牧人の歌)、嵐の後の喜びと感謝の気持ち

L.v.Beethoven :

Symphony No.6 in F major op.68 "Pastorale" (39')

I. Allegro ma non troppo

II. Andante molto mosso

III. Allegro

IV. Allegro

V. Allegretto

- 主催 / 公益財団法人東京交響楽団 (11/11)、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 (11/12)
- 助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業 (創造団体支援) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 (11/11)
公益財団法人 花王芸術・科学財団 (11/11)
文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 (11/12)
- 後援 / 在日スイス大使館 (11/11)、プリティッシュ・カウンシル (11/11)

新潟定期演奏会は、新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています。

楽曲解説はP.06をご覧ください



公益財団法人 花王 芸術・科学財団



11/11 SAT. 12 SUN. 17 FRI.



©K.Miura

Jonathan Nott

Conductor

ジョナサン・ノット
[指揮]

Music Director
音楽監督

イギリス生まれ。フランクフルトとヴァースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン響首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、EIC音楽監督、バンベルク響首席指揮者を経て、2017年よりスイス・ロマンダ管音楽監督も務めている。抜群のプログラミングセンスと古典から現代曲まで幅広いレパートリーで、世界の主要オーケストラ・音楽祭に客演。

2010年バンベルク響とのCDが、世界で権威ある仏Midem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて大司教より功労勲章を授与。東響とともに2020年「ミュージック・ペンクラブ音楽賞（オペラ・オーケストラ部門）」、2022年音楽の友誌「コンサート・ベストテン」国内オーケストラ最高位、毎日新聞クラシックナビ「音楽評論家・記者が選ぶコンサート・ベストテン」第1位に選出。

レコーディング活動でも多彩な才能を発揮し、ウィーン・フィルやベルリン・フィルとの録音のほか、東響とはオクタヴィアレコードより多くのCDをリリースしている。

Among today's renowned and interesting conductors, Jonathan Nott, is probably the most fascinating. His unique talent unites what appear to be irreconcilable opposites, creating deeply emotional yet gratifyingly intellectual interpretations, connecting to his musicians at the very humblest level, and bringing an unusual depth of analysis and spontaneous, heartfelt music-making, both in the symphonic and operatic repertoires, and in the field of contemporary music.

In Japan – where he holds a 13-year contract as chief conductor of the Tokyo Symphony Orchestra – he enjoys near Popstar status, due not only to his intense and explosive aura while performing but also to his unusual programming creativity.

Unsurprisingly, he has conducted all major orchestras, performed with almost all famous soloists, and enjoys a long list of award-winning multi-channel recordings with TUDOR, SONY, PENTATONE (in 9.1 Auro 3D) and OCTAVIA.



© HT / PCM

Gerhard Oppitz

Piano

ゲルハルト・オピッツ
[ピアノ]

ドイツ正統派を代表する演奏家。音楽解釈の楽派の流れは、師のヴィルヘルム・ケンプからベートーヴェンにまで直接遡る。1977年、第2回アルトゥール・ルービンシュタイン国際コンクールで優勝し、一躍世界的な脚光を浴びた。

これまでに、ウィーン・フィルやベルリン・フィルをはじめとする著名なオーケストラ、ジュリーニ、ムーティ、マゼール、メータ、コリン・デイヴィス、サヴァリッシュ等一流の指揮者と共演している。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、ベートーヴェンとブラームスに関しては、世界最高の演奏者の一人として確固たる地位を確立している。また、発売されたCDは既に80枚を超える。

日本では1994年、NHKテレビのベートーヴェン・ソナタの演奏およびレッスンが爆発的人気呼んだ。ベートーヴェン、シューベルト、シューマン&ブラームスの連続演奏会も好評を得る。親日家でもあり、日本で最も人気のあるピアニストの一人である。

The German pianist, Gerhard Oppitz has carried on the German musical tradition from legendary Wilhelm Kempff. His own career opened up internationally in 1977 when he became the first German to win the coveted Artur Schnabel Competition.

He has performed with the world's most prestigious orchestras, such as the Berliner Philharmonic Orchestra and Vienna Philharmonic Orchestra with conductors including Carlo Maria Giulini, Riccardo Muti, Lorin Maazel, Zubin Mehta, Sir Colin Davis and Wolfgang Sawallisch.

Gerhard Oppitz has a wide and diverse repertoire and established himself as one of the best interpreters especially of Beethoven and Brahms. Gerhard Oppitz' discography comprises over 80 titles.

In Japan, NHK broadcasted programs around his performances and masterclasses of Beethoven sonatas, to tie in with a tour he made around the country.

11/11 SAT. 12 SUN.

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19

本作は「第2番」という番号が付されているが、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンにとって事実上、最初のピアノ協奏曲にあたる。つまり、現在「第1番」と呼ばれているop.15よりも前に成立したのである。当時の創作や演奏の状況に不確定な部分が多かったため、混乱が生じたようだ。現在は史料研究が進み、演奏家として世間にアピールしようという当時の野心も知られるようになった。

本作と「第1番」の作曲時期は重なり合っている。しかし、のちにベートーヴェン自身が出版社に「私の最良の作品ではない」と告げているように、「第1番」とちがって本作ではクラリネットやトランペット、ティンパニが用いられないという楽器編成の点でも、また「第1番」の転調法のほうがより斬新であるという点でも、両作は異なっている。

いっぽうで本作でも、たとえば第1楽章で、嬰ハ音＝変二音の異名同音の読み替えを用いている点などには、後年のベートーヴェンが得意とする曲の展開法がすでにみられる。また、本作には4つもの稿が存在し、それぞれの稿がそのつど演奏されたと推測されている。これは、鍵盤の名手(ヴィルトゥオーソ)であった若き作曲家が、当ジャンルを実験中であった証であろう。

ところで、冒頭で「事実上、最初のピアノ協奏曲」と述べたのは、ベートーヴェンが10代前半のボン時代に「変ホ長調協奏曲」WoO4という鍵盤楽器のための協奏曲を書いているからだ。

第1楽章:アレグロ・コン・ブリオ 変ロ長調 4/4

作曲者自身による独奏は即興的なものであり、1801年の楽譜出版時によく独奏パートが書きあげられた。生徒用(おそらくルドルフ大公のため)にカデンツァの楽譜も書き残されている。

第2楽章:アダージョ 変ホ長調 3/4

冒頭でヴァイオリンが奏する主題を、ピアノがしだいに細やかに変奏していく。

第3楽章:ロンド モルト・アレグロ 変ロ長調 6/8

弱拍にアクセントを置いたロンド主題が4回くり返される。意表を突くリズムは作曲家の得意技である。

西田紘子 Text by Hiroko Nishida

作曲:1786～1798年

初演:(最終稿)1798年10月プラハ

編成:独奏ピアノ、フルート1、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、弦5部

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

交響曲 第6番 へ長調 op.68 「田園」

牧歌的な調べや羊飼いの音楽を総称する《Pastorale》パストラレ、つまり「田園」は、バロック期から19世紀にかけて、とても愛された標語のひとつである。

楽都ウィーンを取り囲む城壁周辺や郊外の森での散策を愛でたベートーヴェンにとっても、パストラレは身近な概念だった。しかし時代も次代も切り拓いたこの鬼才は、典型的な描写音楽を書かなかった。

自然への愛や感謝はもちろんのこと、ドラマティックな情趣が私たちを捉えて離さない。「(ある)性格をもった交響曲または田舎の生活の思い出」で「絵画的というよりは、むしろ感情の表出」とは作曲家自身の言葉である。

動機の展開を究めた交響曲第5番の完成後に作曲が本格化し、1808年暮れに“ウィーン川のほとりに建つ劇場”という名のアン・デア・ウィーン劇場でピアノ協奏曲第4番、交響曲第5番、合唱幻想曲とともに公開初演された。

古典派交響曲と標題音楽の美質をあわせもつ絶品を聴く。

管弦打楽器の筆致は例によって大胆にして精妙だ。曲想は全く異なるが、実は「運命」と共通の作曲法—たとえば8分休符を伴う主題の提示やトロンボーン(第4・5楽章)とピッコロ(第4楽章)の効果的かつ限定的な使用、後半楽章の連結—も特徴となる。

ベートーヴェンは第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンの応答に「こだわった」。これは視覚的にも楽しめる。また木管楽器に多彩な表現を求めた。トランペット(第3・4・5楽章)とティンパニ(第4楽章)の用法にも一家言あった。

ロマン派以降の作曲家にとっても「田園」は芸術的な指標となる。ベルリオズの「幻想交響曲」に多くを授け、世紀転換期のマーラーが好んで指揮。シベリウスにも好影響を与えた。

第1楽章 田舎に到着した時の嬉しい感情の目覚め アレグロ・マ・ノン・トロppo

第2楽章 小川のほとりの風景 アンダンテ・モルト・モツ

第3楽章 田舎の人たちの楽しい集い アレグロ

第4楽章 雷鳴、嵐 アレグロ

第5楽章 羊飼いの歌(牧人の歌)、嵐の後の喜びと感謝の気持ち アレグレット

奥田佳道 TEXT by Yoshimichi Okuda

作曲:1808年

初演:1808年12月22日ウィーン、アン・デア・ウィーン劇場

編成:ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン2、ティンパニ、弦5部

11/17 FRI.

東京オペラシティシリーズ 第136回

2023年11月17日(金) 19:00 東京オペラシティコンサートホール

Tokyo Opera City Series No.136

Fri. 17th. November 2023, 19:00 Tokyo Opera City Concert Hall

ジョナサン・ノット [指揮]

ゲルハルト・オピッツ [ピアノ]

伊藤文嗣 [チェロ]

景山昌太郎 [コンサートマスター/客演]

Jonathan Nott, Conductor

Gerhard Oppitz, Piano

Fumitsugu Ito, Cello

Shotaro Kageyama, Concertmaster

リゲティ: アパリシオン (10')

I. Lento

II. Agitato

G. Ligeti: Apparitions (10')

I. Lento

II. Agitato

ドビュッシー: 3つの夜想曲より「祭」(8')

C. Debussy: "Fêtes" from Nocturnes (8')

ブーレーズ: メサジェスキス

~独奏チェロと6つのチェロのための~(8')

P. Boulez: Messagesquise

for solo cello and six cellos (8')

アマン: グラット (20')

D. Ammann: glut (20')

休憩 (20')

Intermission (20')

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番

変ホ長調 op.73 「皇帝」(40')

I. Allegro

II. アダージョ・ウン・ポコ・モッソ

III. ロンド: アレグロ - ピウ・アレグロ

L.v. Beethoven: Piano Concerto No.5
in E flat major op.73 "Emperor" (40')

I. Allegro

II. Adagio un poco mosso

III. Rondo Allegro - Piu allegro

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

●後援/在日スイス大使館、プリティッシュ・カウンシル

ジョナサン・ノット、ゲルハルト・オピッツのプロフィールはP.04~05をご覧ください

楽曲解説はP.10をご覧ください

Fumitsugu Ito

Cello **伊藤文嗣** [チェロ] ソロ首席チェロ奏者
Solo Principal Cello

©N.Ikegami

1986年神奈川県出身。東京藝術大学を経て、同大学大学院修士課程修了。第9回ビバホールチェロコンクール第2位。2008年～2010年N響アカデミーに在籍。これまでに、サイトウ・キネン・オーケストラ、東京・春・音楽祭、ジャパンヴィルトゥオーゾシンフォニーオーケストラ、マロオケ、北九州響ホールフェスティバル、防府音楽祭、赤穂国際音楽祭プリ・コンサート、姫路国際音楽祭プリ・コンサート、アフィニス・アンサンブル・セレクション他多数出演。また、客演首席奏者として国内主要オーケストラに招かれている。これまでにチェロを山崎伸子、河野文昭、藤森亮一の各氏に師事。2012年より東京交響楽団首席チェロ奏者、2021年よりソロ首席チェロ奏者を務める。

Born in Kanagawa prefecture. Fumitsugu Ito graduated at Tokyo University of the Arts and got his master's degree at the same university. He won second prize at VIVAHALL Cello Competition. He was enrolled in NHKSO Academy from 2008 to 2010. He has performed with renowned orchestras Saito Kinen Orchestra, Spring Festival in Tokyo, Japan Virtuoso Symphony Orchestra, MARO-OKE, Kitakyushu Hibiki Hall Festival, Affinis Ensemble Selection and more. He has performed as Guest Principal at various orchestras. Fumitsugu Ito studied Cello under Nobuko Yamazaki, Fumiaki Kono and Ryoichi Fujimori.

東京交響楽団 チェロセクション

1st

Mariko
Fukuzaki

福崎茉莉子



2nd

Takehiro
Uchiyama

内山剛博



3rd

Yoshiyuki
Kanie

蟹江慶行



4th

Yasuyo
Higuchi

樋口泰世



5th

Tami
Janamoto

謝名元 民



6th

Mayumi
Kawai

川井真由美

フォアシュビラー
Vorspieler

11/17 FRI.

ジェルジュ・リゲティ (1923 ~ 2006)

アパリシオン

ユダヤ系であり、ホロコーストで父と弟を失っているハンガリーの作曲家ジェルジュ・リゲティは当初、ヴェレシュに師事。バルトークの延長線上にある作風をとっていたが1956年のハンガリー動乱後に国外へ逃れ、シュトゥットハウゼンが所長を務めるケルン電子音楽スタジオで、当時最先端の「総音列技法」と「電子音楽」を研究。12音技法の発展形である前者を理解した上で否定し、楽譜に書き表しづらい抽象的な音響による後者に可能性を見出した。実際にいくつか電子音楽を実作した後、そのサウンドを管弦楽に移し替えようと試みたのが、「幻」「出現」という意味のタイトルを持つ《アパリシオン》である（そして本作の次に書かれるのがリゲティの代表作《アトモスフェール》だ）。

リゲティが否定的だった総音列技法では、音楽を構成する要素を「均等」にしようとしたばかりに短い音符も長い音符も同じ1回として扱われ、結果として聴こえている時間は長い音符の方が多い……という矛盾を抱えていた。それを反面教師として、本作では敢えて「均等」ではない（バルトークが活用していたとレンドヴァイという学者が主張している）1:1.6...の「黄金比」を構成原理に位置づけ、長い音符は出現機会が少なく、短い音符は逆に多くなるよう前者と後者を1:1.6...の比率でおおよそ計算。全体は2部構成になっているのだが、これも楽譜上で遅い前半の長さが1.6...、速い後半が1の比率になるように作曲したとリゲティは語っている（ただし実際の演奏時間がこの割合になるわけではない）。

小室敬幸 Text by Takayuki Komuro

作曲: 1958~1959

初演: 1960年6月19日ケルン、エルネスト・プール指揮、NDR交響楽団。

編成: フルート3(ピッコロ持替3)、クラリネット3(小クラリネット持替1)、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン6、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、大太鼓、カスタネット、クラベス、クロタイル、グロックンシュピール、ギロ、マラカス、中太鼓、タンバリン、タムタム、テンブルブロック、もち、ウッドブロック、シロフォン、ハーブ、チェレスタ、ピアノ、ハーブシコード、弦5部、バンダ/ヴァイオリン3、トランペット1

クロード・ドビュッシー (1862~1918)

3つの夜想曲より「祭」

1891~94年に作曲された《牧神の午後への前奏曲》でドイツ・ロマン派とは全く異なる新たな表現をオーケストラから引き出すことに成功したのが、フランスのクロード・ドビュッシーである。次なる挑戦としてオペラと並行して書き進めた《3つの夜想曲》は一種の情景描写なのだが、ロマン派における標題音楽と異なるのは物語性・ドラマ性を敢えて希薄にしており、タイトルとなっている物事の時間経過による変化を描いている。第2曲〈祭〉はドビュッシー自身によれば、祭りそのものというよりも光と大気の揺らぎが主題となっている。中間あたりから幻影のような行進が現れて徐々に近づいてくると、祭りの熱狂はピークに達する。

小室敬幸 Text by Takayuki Komuro

作曲: 1897~99年

初演: 1900年12月9日パリ、カミーユ・シュヴィヤール指揮、ラルムー管弦楽団。

編成: フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット3、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、シンバル、中太鼓、ハーブ2、弦5部

ピエール・ブーレーズ(1925~2016)

メサジェスキス ~独奏チェロと6つのチェロのための~

ウェーベルン作品における12音技法を発展させて「総音列技法」を確立。《構造I》(1951~52)や《主のない槌》(1953~55/57)といった作品が高く評価され、第二次世界大戦後の前衛音楽を象徴する作曲家となったのがピエール・ブーレーズだ。作曲家・指揮者のモデルナを追悼して書かれた《リチュアル》(1974)あたりから旋律性や反復性が強まり、音楽が知覚しやすくなりはじめた。現代音楽の支援者・指揮者として功績の大きいパウル・ザッハーの70歳を祝して委嘱された《メサジェスキス》(スケッチされたメッセージという意味)もその流れに位置する。ザッハー Sacherの綴りを音名に読み替えた6音音列(ミb・ラ・ド・シ・ミ・レ)が、続けて演奏される4つのセクション(緩一急一緩一急)のなかで変化して、ゆく拍感のない第1部、3拍子でトッカータ風の第2部を経て、第3部では2つの要素(アンサンブルは緩、独奏は急)が重ね合わされる。カデンツァを経て、終結部となる第4部へ。7つのチェロがひとつに融合する。

小室敬幸 Text by Takayuki Komuro

作曲:1977年

初演:1977年7月3日仏ラ・ロシェル、ピエール・ピナソー独奏。

編成:独奏チェロ、チェロ6

ディーテル・アマン(1962~)

グラット

若い頃にフリージャズとファンクを掛け合わせたバンド「Donkey Kong's Multi Scream」でトランペット、キーボード、エレキベースを演奏していたディーテル・アマンは、バーゼル音楽院で作曲を学んでから30歳で作曲家に転向した。学生時代に師事した教師のひとりにはヴェレシュ門下、もうひとりガリゲティ門下と、意外にリゲティと近い系譜にいるのが興味深い。初期作は音列技法を用いて論理的に作られていたが、徐々に直感的な要素が増えていったという。《グラット glut》とは独語で「炎」「輝き」「熱狂」といった意味で、「内面の輝きが音にかたちを変えて、外面へと突き進む」のだという。「せっかちな人間なので作曲家の意図が分かるまでに多くの扉を開けなければならない音楽よりも、ジェットコースターに放り込まれて流されるような驚きが好き」と作曲家も語っているので難しいことは考えず、多彩なサウンドの変化に翻弄されることをお楽しみいただきたい。

小室敬幸 Text by Takayuki Komuro

作曲:2014~2016

初演:2016年5月11日チューリッヒ。マルクス・シュテンツ指揮、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団。

編成:フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ3、クラリネット3(バス・クラリネット持替1)、ファゴット3(コントラ・ファゴット持替1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、クロティル、トムトム、スリットドラム、サンダーシート、シンバル、マリリンバ、ヴィブラフォン、グロッケンシュピール、ボンゴ、ラチェット、アンビル、ダムダム、スイスカウベル、ウッドブロック、ゴンク、大太鼓、小太鼓、キン、ヴィブラスラップ、トライアングル、チャイム、ティンパニ、ピアノ、ハープ、弦5部

11/17 FRI.

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」

ピアノ協奏曲第5番「皇帝」は、言わずもがなの名曲だ。交響曲「運命」や「田園」を初演した直後に作曲が始められたとされる。しかし、完成後すぐには初演されず、しかもウィーンではなく現ドイツのライプツィヒで初演された。今回は、その初演について紹介しよう。1811年のライプツィヒの演奏会シーズンは、例年通り、9月29日の聖ミカエルの日に始まった。国際的な見本市の開催に合わせての開幕である。そして11月28日、そのシーズンの「第7回演奏会」で「皇帝」は初演されたのだ。演奏会はハイドンの二長調のシンフォニーで始まり、次いで、イタリア人作曲家フランチェスコ・モルラッキのオペラ「コッラディーノ」から、アリアや合唱などが歌われたあと、「皇帝」(プログラムには単にピアノフォルテ協奏曲)と記載)が演奏された。休憩後の後半はヴェンターのオペラ「コルマル」の序曲で始まり、モーツァルトの「フィガロの結婚」のフィナーレで終了となるプログラムだった。オーケストラの演奏会なのにオペラの抜粋ばかりなのは、当時の基本型。つまり、ごく普通の演奏会で、ごく普通に初演されたのである。

その演奏会の批評で「皇帝」は絶賛された。『総合音楽新聞』に掲載された評を引用しよう。「この世に存在する全ての協奏曲の中で、最も独自性が高く、最もファンタジー豊かで、最も演奏効果にあふれ、しかしながら、最も難しい作品であることに疑いの余地は無い。独奏をつとめた音楽監督のシュナイダー氏は、これ以上は考えられないというほど卓越した演奏を聴かせた。熟練度、明解さ、安定性、繊細さ、といった点だけではなく、精神的な意味でもすばらしかった。というも、彼は、作品の隅々まで、全体的な構成はもとより、ひとつひとつの細かい部分まで、作品の意味、そして作品の意図まで完全に理解して演奏していたからだ。またオーケストラも、作曲家に対してははっきりとした愛と敬意をもって演奏し、作品およびソリストに、まったく思い描いたように寄り添った。演奏は、大勢の聴衆を、通常の賛辞の言葉では表現できないくらい熱狂させた。」

さて、この世に存在する全ての協奏曲の中で最も難しい「皇帝」は、メンデルスゾーンがロンドン・デビューした時の「持ち曲」だった。メンデルスゾーンは、ピアノパートを暗譜で演奏し、これが「皇帝」のロンドン初演となった。1829年6月24日のことである。

第1楽章 アレグロ

第2楽章 アダージョ・ウン・ポコ・モツ


第3楽章 ロンド:アレグロ - ピウ・アレグロ

小石かつら TEXT by Katsura Koishi

作曲:1808年～1809年

初演:1811年11月28日ライプツィヒ

編成:独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部



「メサジェスキス」と東響の7人 ～東響チェロ・セクション座談会～

11月、音楽監督ジョナサン・ノットの指揮で、5人の作曲家が並ぶユニークなプログラムが用意されている。特に、20世紀～現代を代表する作曲家の一人で、名指揮者としても活躍したピエール・ブーレーズの「メサジェスキス ～独奏チェロと6つのチェロのための～」は注目の1曲。大変な難曲に挑むことへの思いや、チェロ・セクションの雰囲気などについて、本作に出演する7人に座談会形式で語ってもらった。

聞き手・林 昌英(音楽ライター)

ブーレーズの「メサジェスキス」をやることになったと知ったとき、どう思われましたか？

伊藤文嗣(ソロ首席奏者)：ノット監督がこの曲をやりたいと提案している、と聞いたときにはチェロ団員がちょうど7人で(いまは客演首席の笹沼樹君が加わっています)、優秀な若手奏者も入っているし、難しいだろうけどいまのチェロ・セクションならできる、いいタ

イミングだと思いました。ノット監督はブーレーズが設立したアンサンブル・アンテルコンタンポランの元音楽監督(2000～03年)ですし、光栄なことです。

すでに何回もセクションで合わせをしているそうですね。音を出してみてもいかがでしたか？

伊藤(ソロ)：合わせはメンバーで自主的に始



めています。最初に思ったよりはできそうだな、という感覚もあります。ただ、アクセントが不規則に来る箇所などは、やはり指揮者がいる方が自分たちができるが増えるとも感じました。ソロパートは弾きっぱなしで、感覚としては息継ぎなしで全速力を続けて、迷ったら終わり。一気に駆け抜けていくような感じです。ランダムのように見える音列が並ぶ曲ですが、その意味や隠された規則性といったことを丁寧に拾いながら、ただの音の羅列にならないように弾くことが必要と考えています。

福崎茉莉子(第1):この曲では、第1チェロがリーダーという役割にはなりません。スコアを見ると図形として、人数が多かったところからきれいに消えて行ったり、また増えていたり、いきなりユニゾンで集まったりというのがわかります。

内山剛博(第2):合わせをしてみて、7人でひとつの集合体として“うねり”のようなものを作っていくのが、聴きどころになるのかなと。それぞれ担当する音はあるけれど、うねりの中に入っていきみたいな気持ちで取り組

んでいます。

蟹江慶行(第3):ソロは別として、要所ごとに3対3というグルーピングができると考えています。第3は下のラインを担当して、最低音を弾く場面が多い。ベースのパートを弾くのが好きなので喜んでいましたが、高い音もたくさんあってやはり大変です(笑)。

樋口泰世(第4):6人のパートの分け方は、スコアを見て相談した結果、まずフォアシュピラーの川井さんのパートを最初に決めて、あとはじゃんけんで決めていきました(笑)。私はじゃんけんに負けましたが、残り物には福があるということで前向きに取り組んでいます!

謝名元 民(第5):最年長の僕には、皆さんが選択権を譲ってくれて、じゃあ第5チェロを、と選ばせてもらいました。このメンバーで、しかもノット監督の指揮で、チェロ・アンサンブルができるのがとにかく嬉しいです。

川井真由美(第6):この曲は1番が高音とか6番が支えるといったことはなくて、本当に同等です。弾きっぱなしのソロにかみ合わせていくことが想像以上に難しく、正確にできるよう、メトロノームとお友達にならな



Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

「メサジェスキス」と東響の7人

～東響チェロ・セクション座談会～

いといけないなと思って臨んでいます(笑)。この曲でしっかり演奏できたら、セクションとして一段階レベルアップできると確信しています。

伊藤: 全員にとってこの曲はチャレンジですが、セクションの絆が深まりそうです。とにかく“デイリー・ブーレーズ”じゃないけど(笑)、毎日さらわないと!

東響チェロ・セクションは、こうして集まっても笑いが絶えず、良い雰囲気ですね。

謝名元: 僕が入団した頃からだんだん変わってきて、いまの雰囲気は最高ですよ。

樋口: その変化は“JANAさん(謝名元さんの愛称)”が第一人者として作り上げてくださったものなんです。

伊藤: 演奏後の握手を始めたのも、JANAさんからなんですよね。

蟹江: 東響に入団したら、みんな和気あいあいとやっていて、これがオケというものなん

だと嬉しかったんですが、他の音楽仲間にはそういうオケは珍しいと言われます。

樋口: 若いメンバーも入ってきて距離感も縮まって、他のオケ以上の絆があるセクションじゃないかなと思っています。

福崎: もともとは伊藤さんのソロを聴いてファンになり、ついていきたいと思ったのが最初でした(全員拍手)。それで東響に入ることができたんですが、フランクな感じが心地よくて、ずっとここにいたいという気持ちです。

内山: 僕は昨年入団の2年目で、オケは厳格でピリピリした場所というイメージがありましたが、東響全体がとにかく和やかな雰囲気、かつチェロ・セクションはさらに柔らかい感じに包まれて、その中でいいパフォーマンスにつながる環境を作り上げる、いいセクションです。

川井: 入団当初は緊張感もありましたが、JANAさんが良い雰囲気を作ってくれたことでどんどん変わってきて、優秀な若い奏者たちも入り、いまは本当にいい環境で仕事ができているなど。ただ仲がいいだけでなく、みんなでいいものを目指すという気持ちも伊藤くんが作ってくれています。

全文は公式サイトにて掲載しています。

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名（敬称略）

法人
会
員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社インサイド・アウト
環境ステーション株式会社
株式会社ティー ワイ リミテッド
株式会社日本財託
株式会社パソナグループ

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
株式会社あ佳音
オリエンタル酵母工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
株式会社すかいらーくホールディングス
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
玉の肌石鹸株式会社
中外製薬株式会社
銚子屋油槽船株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
司法書士法人村田事務所

ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
有限会社青史堂印刷
ニッシンエレクトロ株式会社
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社
前山歯科医院
株式会社LALLヒューマンホールディングス

賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名2社

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポーター会員



©N.lkegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(11月1日現在、五十音順)。

河村 陽子
菅野 広海
田池 正信
菊池 雅子
北野 眞
木下 泰子
木下 亮平
貴布根 弘篤
木村 好一
木村 強
木村 富智子
木村 美智子
*京増 純芽
原 潔
玄間 美幸
小泉 美徹
小泉 博
好土崎 稔子
河野 太美
高山 惠子
国府 保周
国府 恵子
小坂部 一雄
古平 淳
小西 恭二
小林 宏州
小林 浩
小藤 惠
近藤 諒弥
近内 光
近内 友史
後藤 裕二
■ さ
斎藤 爽子
藤 ひろ子
齋藤 博
齋藤 将隆
齋藤 有司
齋藤 典子
坂本 タカ子
坂本 宗男
坂本 前刀
佐々木 紀博
佐々木 通博
佐々木 基
佐藤 謙
佐藤 幸子
佐藤 勝
佐藤 孜
佐藤 美和子
重成 瞳
茂野 俊郎
重松 恒夫
穴戸 雅一
篠田 一朗
柴崎 晴雄

柴崎 俊也
川 朋子
嶋谷 宏明
谷 水村重
篠水 夫
村 志村一
庄 彦
白 大幸
城 和美
菅 昌代
澤 啓次
原 明
杉 重
山 慎二
山 明子
洲 合 啓
合 鈴木 啓
鈴木 孝治
鈴木 美和
鈴木 幸
清木 達
清木 名美
清木 翔
關 洋
■ た
高石 亜希子
高木 敏和
高木 敬
高木 晴
高木 知也
高津 洋二
高野 勝弥
高橋 美穂
高橋 有一
高橋 則雄
高松 幸男
高竹 昭
竹内 聖子
竹内 真也
竹内 美
竹内 み
竹内 竜
竹内 和
竹内 正
竹内 隆
竹内 裕
竹内 和
武田 大
武田 克
武田 昌
武田 泰三
武田 敬
武田 慎
武田 司
武田 香
忠 万
多田 守
田 紀
田 浩
田 香
谷川 種
谷川 万
谷川 守
谷川 正
谷川 浩
谷川 一
谷川 朗
谷川 晴雄

津久井 淳
直 浩
土屋 政幹
坪井 洋一
寺澤 佳代
寺田 治男
遠山 淳夫
登原 明史
富田 博之
鳥居 順子
鳥居 夕紀夫
■ な
中沢 忠
中西 哲人
中村 元嗣
中村 洋一
永井 明子
成合 直実
西岡 昌紀
西川 晶
西川 陽子
西川 淑子
西中 淳夫
西村 真英
西村 昭
西山 信弘
野口 誠
野口 真
野口 有美
野村 一成
野村 真澄
■ は
橋爪 千鶴子
橋本 和雄
橋本 史
橋本 巨紘
橋本 憲人
長谷川 京介
長谷川 博
長波多 三
早川 明男
林 博子
林 和代
林 和宏
林原 ひと
原 岳
原 慶子
原 京子
原 泰實
坂東 恵子
榑 泰文
後 直
廣 行
廣 中
深沢 茂
深沢 美
堀田 典秀
堀田 浩史
堀田 信子

■ ま
前田 泉
田 光郎
牧 正司
田 明
幕田 秀樹
柳井 淳一
松岡 泰之
松尾 繁
松下 俊郎
松本 敏子
松本 雅則
松尾 雅子
丸山 也
水谷 敏男
水谷 弘
水野 晴彦
水野 純子
三田 健司
宮坂 朋子
宮島 昇
宮寺 誠司
村上 正子
村瀬 善弘
室田 千恵子
本橋 敦
森 里美
森 まさ子
森 政和
森島 篤
森本 暁子
森岡 宣幸
■ や
柳沼 美智子
柳沼 康男
安富 一
柳 雅
柳本 友幸
山 隆
山 裕児
山岸 勇一郎
山口 昌
山口 克
山田 美生子
山田 義則
山本 博
湯川 俊明
横山 尚洋
吉居 秀修
吉田 淳
吉富 美紀
吉野 純子
吉野 幸子
吉見 敬
米田 光
米田 克幸
米谷 幸
■ わ
若田部 矩弘

若槻 不二夫
渡邊 朋子
C.S.
N.S.
T.Saito
匿名 121 名

■ 栄誉会員
ヨロコ・ナガエ・
チェスキーナ

遺贈・相続ご寄付 (敬称略)

鈴木 久子 牧野 季子
竹内 容子 岡橋 純男
齊藤公治メモリアル基金 岡橋 孜

法人定期会員

【定期演奏会】
東京コンテナ工業株式会社



特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までにご欠席の連絡をくださった方には、入場券代はお返し致しませんが、特別後援会員として1年間定期公演のプログラムにお名前を掲載させていただきます。当団主催公演の入場券を5%引き(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱いのみ)にてお求めいただけます。お求めの際に特別後援会員であることをお申し出ください。なお、対象となる演奏会は当団が指定する主催公演です。

安齋 優 東 由美子
伊藤 智志 樋口 由美
栗田 清司 匿名 10 名
関根 三善 (敬称略)

ご連絡はTOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511へお電話でお願いします。



©N.Ikegami

<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけではなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典

詳細はHP、
又はお電話でお問合せ下さい

	法人会員	サークル 会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約 *1	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内 *2	○	○	○	○	○

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分*3について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。*

*但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians

楽団員紹介

“惹きつける”チェリスト

樋口 泰世

Yasuyo Higuchi

[チェロ奏者]2008年3月入団

趣味: カフェ巡り、韓国語、グラフィックデザイン



©N.Ikegami

流れに身を任せて音楽の世界へ

母の手ほどきで、ものごころ付いた頃にはヴァイオリンを弾いていました。大好きでやっている感じではなかったです(笑)。9歳の時に、上村昇さんが演奏するブラームスの二重協奏曲を聴き、幼心にもチェロの豊かな音に魅了され、「あの楽器なら何時間でも練習する!(座って弾けるし!)」と、転向することになりました。その後は紆余曲折ありましたが、師事していた先生が藝高、藝大の先生になられたので、流されるまま進学しました。藝高の「げ」の字も知らなかったので、他の学生の熱い思いに圧倒されたのを今でも覚えています。



ヴァイオリンを弾いていた頃。

チェロと1から向き合った数年間

大学在学中から、オケやスタジオ、テレビの仕事をもくいたでいて、卒業後はクラシック以外のジャンルの音楽も多く演奏していました。芸能音楽事務所に所属して、歌手のサポートミュージシャンとして全国を回り、

FUJI ROCKやRISING SUNにも出演しました。ライブハウスや野外で演奏することが多かったので、エレキチェロをメインにしていた、音はミキサーで作ってもらっていました。久しぶりにオーケストラの現場に行った時に、楽器がまともに弾けなくなっていて愕然としたのです。「エレキでの仕事も楽しいけれど、このままではあかん!」と思い、2005年、ロングトーンからやり直しました。その年、パイロイト音楽祭のワークショップに参加したことをきっかけに、留学を視野に入れていた矢先、エキストラでお世話になっていた東響の募集が出て、オケに入るチャンスは今しかない!と迷わず応募しました。東響のアットホームな雰囲気大好きだったからです。

チェロセクションは、程よい距離感を保ちつつ、リスペクトし合い、お互いを大切に思っています。今回演奏するブルーーズ《メサジェス・キス》という難曲が、メンバーの絆をより一層強めてくれると思います。



誕生日には、チェロセクションみんなでお祝いしてくれます。

インタビュー:事務局

NEWS & TOPICS

正 楽 団 員

11月1日付

竹山 愛 Ai Takeyama [首席フルート奏者]

東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。ミュンヘン音楽演劇大学 Zertifikatsstudium Meisterklasseを修了。第79回日本音楽コンクール第1位(併せて岩谷賞)。第26回日本管打楽器コンクール第1位。第8回神戸国際フルートコンクール第3位など受賞歴多数。

ソロアルバム「Plays Paris」[GATE]をリリースし、レコード芸術誌において共に準特選盤・特選盤に選出された。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席フルート奏者を経て、東京交響楽団首席奏者に就任。



©Tess Ayano

新 入 団

11月1日付

新井瑞穂 Mizuho Arai [ヴィオラ奏者]

楽 団 人 事

11月14日付

福井 蔵 Osamu Fukui

[首席ファゴット奏者]

1989年に入団し、24年にわたり活躍いたしました。再雇用契約にて、引き続き首席ファゴット奏者として活動いたします。



楽 団 人 事

12月1日付

謝名元 民 Tami Janamoto

[チェロ奏者]

1994年に入団し、29年にわたりチェロ奏者として活躍いたしました。12月1日付でパーソンネル・マネージャーに就任いたします。



東響コーラス団員募集

東京交響楽団と、音楽監督ジョナサン・ノットをはじめとする数多くの指揮者と共演する東響コーラス。このたび下記の要領で入団オーディションを行うこととなりました。多くの方のチャレンジをお待ちしております。

日時・会場	2024年2月18日(日) 午後 クラシック・スペース★100 3階 2024年2月20日(火) 夜間 クラシック・スペース★100 ホール 【クラシック・スペース★100】 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 矯風会館1F
応募資格	高校生以上
締切	2024年2月4日(日) 18:00

試験曲・応募方法などは、東京交響楽団公式サイトからご確認ください。

クラシック音楽“バーチャルアーティスト” 開発プロジェクトが始動！

#ニコ響などでタグを組み、あらゆる音楽事業に取り組んできたダウンゴ、KADOKAWAとともに、クラシック界初となる「バーチャル上に精密に楽器演奏者を再現する」技術を導入したバーチャルアーティスト開発を行なうプロジェクト「ポルタメタ」を始動することとなりました。

プロジェクトの第一弾として、「バーチャルアーティスト」としてクラシック音楽や楽器演奏の楽しさを幅広い世代へ伝えるピアニストを募集いたします。オーディションの詳細は「ポルタメタ」公式サイトからご確認ください。



2023年10月16日、タワーレコード渋谷店にて ノット監督初のトークショーが開催されました

「ショスタコーヴィチ：交響曲第4番」CD発売記念として、タワーレコード渋谷店にて音楽監督ジョナサン・ノットのトークショー&サイン会が開催されました。当日は非常に多くのお客さまにご来場いただき、音楽評論家 青澤隆明氏との対談では、ノット監督の録音に対する熱い想いが語られました。

CDは演奏会会場「東響SHOP」でもお求めいただけます。



NEXT PROGRAM

12/3 (日) 第135回 新潟定期演奏会
17:00 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
コンサートホール

- ：指揮：川瀬賢太郎
- ：合唱：新潟市ジュニア合唱団
- ：～チャイコフスキー 3大バレエ選集～
- ：《白鳥の湖》《眠りの森の美女》《くるみ割り人形》

¥6,500 A¥5,000 B¥3,500 C¥2,500 D¥1,500



りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00～19:00 / 休館日除く)

12/7 (木) 東京オペラシティシリーズ 第137回

9 (土) 名曲全集 第194回
14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

：指揮：秋山和慶、ソプラノ：三宅理恵
：メゾソプラノ：小泉詠子、テノール：福井敬
：バス：妻屋秀和、合唱：東響コーラス
：(合唱指揮：河原哲也)

：ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクの
マイスタージンガー」
：第1幕への前奏曲
：ベートーヴェン：交響曲 第9番「合唱付」

[12/7]S¥8,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000
[12/9]S¥7,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000



12/16 (土) 第717回 定期演奏会
18:00 サントリーホール

17 (日) 川崎定期演奏会 第94回
14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

：指揮：ユベール・スターン
：シューマン：交響曲 第1番「春」(マーラー版)
：ブラームス/シェーンベルク編：ピアノ四重奏曲 第1番

[12/16]S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,000 P¥2,500
[12/17]S¥8,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000 P¥2,500



12/28 (木) 「第九」2023
18:30 サントリーホール

29 (金) 「第九」2023
14:00 サントリーホール

：指揮：ジョナサン・ノット
：ソプラノ：三宅理恵
：メゾソプラノ：金子美香
：テノール：小堀勇介、バリトン：与那城敬
：合唱：東響コーラス
：(合唱指揮：河原哲也)

ベートーヴェン：交響曲 第9番「合唱付」

SS(シングル)¥15,000 SS(ペア)¥26,000 S¥12,000 A¥9,000 B¥6,000



TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00 ~ 18:00 /土日祝休)

東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ

公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」[0歳からのオーケストラ]等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、《サロメ(演奏会形式)》は、毎日新聞クラシックナビ「2022年開催公演ベスト10」第1位、音楽の友誌「コンサート・ベストテン2022」で日本のオーケストラとして最高位に選出された。

Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world, and its Salome in Concert Style was selected as the best Japanese Concert in the "Concert Best Ten 2022" by Ongaku no Tomo magazine, and won the he Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 40 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
[TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION]

1か月550円(税込)



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

Symphony

Symphony 2023年(令和5年)11月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト